

伊万里警察署協議会開催結果の概要

令和8年7月16日

会 議	令和8年度 第1回 伊万里警察署協議会
開催日時	令和8年6月23日（火）15:00～17:30
開催場所	伊万里警察署 会議室
出席者	○ 協議会：会長以下8名 ○ 警察署：署長以下11名 計19名
議 事 概 要	
1 開会 2 会長挨拶 警察署協議会は、警察署の業務運営に民意を反映させることを目的に設けられた機関であり、警察署長の諮問に応じるとともに、署長に対して意見を述べることを任務としています。 本日は、警察署長から「県民の期待と信頼に応える力強い警察を実現するための人材育成の取組」について、諮問を受ける予定です。 地域住民が安心して暮らせる社会は、私たちにとって、かけがえのないものであることは言うまでもありません。 地域と警察が連携してこそ、地域の安全・安心を確保できるものと考えておりますので、本日は、委員の皆様の忌憚のない御意見を賜りたいと思います。 3 署長挨拶 警察署協議会は、警察署長の諮問に応じて意見を述べるなど、警察署の業務運営に地域の皆様の意見を反映させることを目的に設置された制度です。 本日は、「県民の期待と信頼に応える力強い警察を実現するための人材育成の取組」についての諮問を予定しており、皆様の積極的な御意見を願います。 犯罪被害や痛ましい交通事故を発生させないために、警ら活動や職務質問等の強化を行っていますが、地域の皆様との連携や協力が不可欠であると考えているところであり、皆様には今後もお力をお貸しいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 4 自己紹介 5 協議 (1) 前回答申書（令和8年2月25日付け）に対する取組状況の説明	

「地域住民を詐欺被害から守るための取組」への答申に対して、生活安全課長が説明を行った。

ア 動画等を活用した分かりやすい注意喚起

警察署独自でパワーポイントを用いた分かりやすい資料を作成し、毎週木曜日の免許更新手続きに際して、説明や講話に用いたり、ケーブルテレビの番組内で動画を放映していただいた。

イ 広報紙による情報発信の強化

交番や駐在所単位でのミニ広報紙については、文字を大きくしたり、絵を効果的に用いたりして読みやすくすることに留意している。

ウ 関係機関と連携した被害防止への取組の推進

一例として、6月2日の民生委員の総会において、国際電話利用停止措置のアプリについての紹介や説明を行い、多くの民生委員がアプリのダウンロードを実施する様子がテレビ報道された。その報道を聞知した市民から、同アプリについての問い合わせがあった。

(2) 業務概況説明

ア 警務部門

警察相談受理状況、現場執行力の強化に向けた教養・訓練の実施、高い規律と士気を有する組織運営、効果的な広報活動の推進

イ 生活安全部門

少年事件検挙状況、少年補導状況、主な特別法犯検挙状況、特殊詐欺等発生状況、人身安全関連事案への対応、犯罪抑止対策の推進

ウ 地域部門

110番通報受理状況等、雑踏警備、情報発信・広報活動

エ 刑事部門

刑法犯認知・検挙状況、薬物犯・暴力団犯罪検挙状況

オ 交通部門

人身交通事故発生状況、運転免許保有状況、交通違反取締り状況、活動状況（イベント等）

カ 警備部門

災害への備え、テロの未然防止に向けた取組

(3) 質疑応答・要望等

委員： 5月21日、3県4警察署合同による災害警備訓練が開催され、視察したが、市民にも訓練を見る機会を提供してはどうか。

警察： 検討したい。

委員： 先日、少年4人を逮捕したとの説明を受けたが、今後、保護観察の対象となる少年も出てくると思われ、保護司の立場としても注目したいと考えている。

委員： 道路沿いで交通の妨げになっている木について、悪天候等で交通障害となるケースもあるので確認をお願いしたい。

山代町にある久原大踏切交差点の信号機について、以前は「黄色点滅信号が通常状態で、赤信号になれば通行不可」になっていたが、今は「赤点滅信号が通常状態で、赤信号になれば通行不可」になっている。赤点滅信号では、前進できるタイミングがあるのに進行しない車両も多く、黄色点滅信号の方が良いのではとの意見がある。

警察： 道路に影響する街路樹は、道路管理者や土地の管理者の責任となる場合が多いが、警察から、対応依頼の連絡は可能である。早

急な確認等が必要な場合は110番通報をお願いしたい。

当該交差点の信号規制については、同一内容の意見を把握しており、検討中である。

委員：伊万里市内において、バイパスへの流出箇所付近で、自転車優先エリアではあるが、他県ナンバーの自動車等が進行して衝突しそうな場面を見かけたことがある。そこで、エリアの色を青に変えたり、二輪車のマーキングをするなど、路面の区別を明確にして事故防止に配慮した方が良いと思った。

また、警務部門の業務概況として説明があった「現場執行力の強化」について、具体的内容の説明をお願いしたい。

警察：安全な交通環境の面については、道路管理者に対する働き掛けを随時行っている。

「現場の執行力強化」の例としては、部外講師による電気自動車等への事故対応教養、消防署員によるAED教養を行った。

委員：免許返納の申請方法について教えてほしい。

警察：申請書類は、警察署や運転免許センターにあり。代理申請も可能である。また、返納後の身分証明書として活用できる運転経歴証明書の発行も行っている。

委員：ストーカー事案に対する警察の対応を説明してほしい。

警察：男女間トラブルは、本人の意向を踏まえての対応が基本となることから、当事者双方からしっかりと事情聴取を行う。危険性があれば、警告だけではなく、逮捕することもある。事件化し、それで終わりではなく、経過をしっかりと把握し、必要に応じて再発防止のための禁止命令等の措置を行う等の対応も行っている。

委員：聴覚障害者から、交通事故を起こされた際の対応で、警察官が当事者とのやりとりを面倒くさがったような態度で、通訳人とのやりとりに終始するような対応で良くない印象をもったということを伝え聞いた。

障害者への理解を深める教育や弱者への理解を深める教育等も大切である。

委員：児童虐待事案があれば、児童相談所に繋げることとなるだろうが、警察の対応を教えてほしい。

警察：児童虐待は身体的虐待、性的虐待、ネグレクト（監護懈怠）、心理的虐待の四類型で分類される。いずれも児童相談所に通告し、身体的虐待、性的虐待については適切に事件化している。面前DVについては、夫婦のもめ事を長期的に対応する中で、児童相談所と連携しながら適切な対応をとっている。

委員：虐待事案の認知は、外部通報によるものが多いか。

警察：夫婦片方の当事者からの通報が多いが、近隣居住者等からの情報提供等もある。

6 諮問

(1) 諮問について

署長から、「県民の期待と信頼に応える力強い警察を実現するための人材育成の取組」について、諮問を行った。

- 令和7年中の刑法犯認知件数が前年比16件増加
- 署員の約26%が30歳未満である。

○ 県警の採用情勢として、募集者は10年前の約3分の1という現状を踏まえると、一人一人の警察官の能力向上が重要となる。

(2) 諮問に対する協議

委員： 若い警察官のコミュニケーション能力について説明があったが、その前に現場で挨拶をしない警察官が多くいるようだ。まず挨拶をして、物事を進めていく必要があるのではないか。

共同での交通安全イベントで、開始の挨拶もなく、終了の説明もなく帰られたことがあり、「本日はお疲れさまでした。」等の挨拶があれば、気持ちよく終えることができたと感じる場面があった。挨拶について指導をお願いしたい。

また、若い警察官は、各種地区行事等に積極的に参加することで、コミュニケーション能力の向上に繋がると思う。

警察： 挨拶等の基本がきちんとできるよう、各人の能力や性格を踏まえ、丁寧にしっかりと指導したいと考えている。

委員： 介護の職場では、傾聴、共感、感動という3Kという言葉があり、コミュニケーションに生かしている。警察官になる方が少ないという情勢については、「上下関係に厳しい」、「ハードルが高い」などのイメージがあるのではないかと思う。

委員： 警察官志望者について、例えば、大谷翔平選手が活躍することでプロ野球選手を志す子供達が増えるのと同様に、警察官がカッコいいとか頼りになるという姿を子供達に見せると警察官を志す子供達が増えると思う。

先ほどの説明の3県4警察署での合同訓練等を子供達に見せることで、警察官になりたいと思う子供の増加に繋がると思う。

また、警察学校の卒業式を視察して感動したのですが、警察学校の警察官等が自分の出身の小中学校等に出向いて、志望動機や身近な体験談等を話してもらうことは効果的だと思うし、コミュニケーション能力の向上にも繋がると思う。

委員： コミュニケーション能力の向上としては、中学生等の職場取材への対応を、若手警察官に担ってもらうことも有効だと思う。

委員： 逆に、若い警察官が職場体験に参加することも有効だと思う。市役所職員が異業種体験として、様々な企業で一週間程度職場体験をしている。

警察： 一週間程度の職場体験は難しいが、短時間の研修等は検討していきたい。

委員： 中学生等の警察署での職場体験は可能か。

警察： 昨年も3校ほどの生徒を受け入れている。

委員： 子供達にとっては実際働いている人から話を聞ける良い機会となるし、若い警察官のコミュニケーション能力を高める良い機会になると思う。

7 その他

次回開催は、令和8年11月に予定

8 閉会